

V 理工学部

1. 志望方法

日程	類	志 望 方 法
前期日程・後期日程	物 質 ・ 環 境 類	左記の2つの類のうちから1つを選び志望してください。
	電 子 ・ 機 械 類	

2. 選抜方法

類名	選抜方法等	大学入学 共通テスト	個 別 学 力 検 査 等				調査書
			学力試験	面 接	小論文	外国語におけるリスニングテスト	
物質・環境類 電子・機械類	前期日程	○	○	×	×	×	○
物質・環境類 電子・機械類	後期日程	○	×	○	×	×	○

- (1) 大学入学共通テスト、個別学力検査等及び調査書を総合して判定します。
ただし、個別学力検査等に著しく不良のものがあつた場合は、上記にかかわらず不合格となることがあります。
- (2) 課せられた試験は、全て受験しなければ失格となります。

(I) 個別学力検査等の教科・科目等

日程	類	教科・科目等		出題意図	摘要	
前期日程	物質・環境類	数学	「数Ⅰ、数Ⅱ、数A、数B」又は「数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B」から1	数学的な知識、能力（計算力、数理的思考力）が備わっているか判断します。		
		理科	「物基、物」 「化基、化」 「生基、生」	から1つを出願時に選択	物理：物理に関する基礎的な知識をみるとともに、基礎的な知識を用いて問題を解析し、的確に表現する総合的な能力を評価します。 化学：高等学校で学ぶ「化学基礎」及び「化学」から幅広く出題し、化学に関する学習内容の理解度を評価します。 生物：高校までに学ぶ生物について全体として理解できているのかを問います。知識を暗記するだけでなく、図や表を読み取るなどして、その内容について議論できるか、などについて総合的に問うことで、大学で生物学を学ぶための準備が十分であるかを試験します。	
		外国語	英語	（コミュニケーション英語Ⅰ、 コミュニケーション英語Ⅱ、 コミュニケーション英語Ⅲ）	英語でのコミュニケーションに不可欠な語彙・文法・読解に関する基礎力を総合的に問います。	
	電子・機械類	数学	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B		数学的な知識、能力（計算力、数理的思考力）が備わっているか判断します。	
		理科	「物基、物」 「化基、化」	から1つを出願時に選択	物理：物理に関する基礎的な知識をみるとともに、基礎的な知識を用いて問題を解析し、的確に表現する総合的な能力を評価します。 化学：高等学校で学ぶ「化学基礎」及び「化学」から幅広く出題し、化学に関する学習内容の理解度を評価します。	
		外国語	英語	（コミュニケーション英語Ⅰ、 コミュニケーション英語Ⅱ、 コミュニケーション英語Ⅲ）	英語でのコミュニケーションに不可欠な語彙・文法・読解に関する基礎力を総合的に問います。	
後期日程	物質・環境類	面接	個人面接／約10分／面接員複数	基礎能力並びに勉学に対する意欲・将来展望等に関する質問を行い、総合的に判断します。		
	電子・機械類		個人面接／約15分／面接員複数			

(注) 英語について、試験問題にはマークシートにより解答するものがあります。必ずHBの鉛筆を持参してください。

(2) 個別学力検査等日時

月 日		9:00		12:40		15:55		17:10		
		9:30	11:30	13:00	15:00	16:10	17:00			
前期日程	2月25日(土)	諸注意	数 学	諸注意	理 科	諸注意	英 語			
後期日程	3月12日(日)	諸注意	面 接							

(注) 1 受験者の入構開始時刻は8時です。諸注意等があるので、試験開始時刻30分前までには、定められた試験室に入室してください。

2 遅刻した者は、試験開始後30分までは受験を認めます。ただし、試験時間は延長しません。

3 後期日程については、面接の順番により、終了時刻が異なります。

(3) 個別学力検査等試験場

前期日程の試験場は、桐生・東京の2か所に開設します。

後期日程の試験場は、桐生のみです。

試験場区分	試 験 場	所 在 地	試験場までの交通について
前期日程	桐 生	群馬大学理工学部 桐生キャンパス	桐生市天神町1-5-1
	東 京	TKP新宿カンファレンスセンター	東京都新宿区西新宿1-14-11 Daiwa 西新宿ビル
後期日程	桐 生	群馬大学理工学部 桐生キャンパス	桐生市天神町1-5-1

88ページ「4. 個別学力検査等試験場までの交通について」を参照

(注) 前期日程の志願者は、桐生・東京の2か所の試験場から1か所を必ず指定し、インターネット出願ページで試験場を選択してください。なお、指定した試験場の変更は認めません。

(4) 学力試験等の配点

日程	類	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点								
		試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	面接	合計
前期	物質・環境類 電子・機械類	大学入学共通テスト	200	*100	*100	200	200	200		900
		個別学力検査等				200	200	100		500
後期	物質・環境類 電子・機械類	大学入学共通テスト	200	*100	*100	200	200	200		900
		個別学力検査等							※	

(注) 1 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等については、41ページを参照してください。

2 大学入学共通テストの英語の配点は、リーディング100点、リスニング100点となっていますが、本学では、リーディングとリスニングの配点を4:1とします。具体的には、リーディング160点満点、リスニング40点に換算し、合わせて200点満点とします。なお、リスニングを免除された場合はリーディングの点数(100点)の傾斜配点(×2.0)を行い配点とします。

3 前期日程個別学力検査の理科の得点は素点としますが、得点調整を行うことがあります。

4 配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。

5 面接(※印)は総合判定の資料とします。なお、面接時間は状況に応じて変わる場合があります。また、面接時間の長さは合否には影響しません。

3. 注意事項

- (1) 試験室は掲示（図示）によって案内し、試験室の下見は認めません。
- (2) 試験当日における付添者の試験場への入構は、遠慮願います。
- (3) 受験者は、昼食を持参してください。
- (4) 群馬大学では、受験の際の宿泊施設等の斡旋は行いません。

4. 個別学力検査等試験場までの交通について

前期日程

(1) 桐生試験場（群馬大学工学部桐生キャンパス）

JR両毛線桐生駅下車、北方へ2.5km

東武桐生線新桐生駅下車、北方へ4.1km

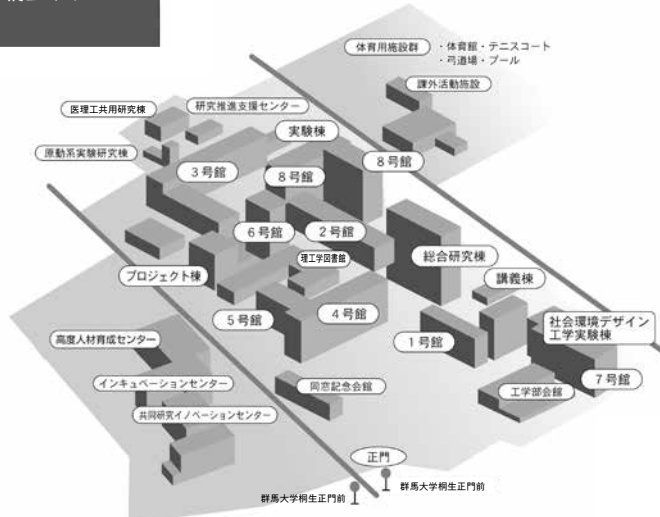
乗車場所	バス行き先案内表示	下車停留所	所要時間
JR両毛線桐生駅北口 おりひめバス「桐生駅北口」	旧女子高前行 二渡神社前行 梅田ふるさとセンター前行	「群馬大学桐生正門前」	約7分
JR両毛線桐生駅北口から 徒歩約10分 おりひめバス「本町五丁目・シルクル前」			約4分
東武桐生線新桐生駅 おりひめバス「新桐生駅」	旧女子高前行	「群馬大学桐生正門前」	約20分

※ 試験場への自動車・オートバイ等の乗入れは、禁止します。

※ 公共交通機関の運行状況は必ず最新の情報を確認し、集合時刻までに到着できるよう十分に余裕を持って試験場へお越しください。

※ 工学部は、2013年4月に工学部を改組して設置された学部ですが、施設の名称が「工学部」となっている場合がありますので、御留意ください。

桐生キャンパス



(2) 東京試験場 (TKP 新宿カンファレンスセンター)

- JR山手線、中央線、埼京線、湘南新宿ライン、総武線「新宿駅」南口 徒歩7分
- 京王線、小田急線、東京メトロ丸ノ内線「新宿駅」西口 徒歩5分
- 都営新宿線「新宿駅」7番出口 徒歩1分
- 都営大江戸線「新宿駅」7番出口 徒歩1分



TKP 新宿カンファレンスセンター (東京都新宿区西新宿 1-14-11 Daiwa 西新宿ビル)

※公共交通機関の運行状況は必ず最新の情報を確認し、集合時刻までに到着できるよう十分に余裕を持って試験場へお越しください。

後期日程

桐生試験場 (群馬大学工学部桐生キャンパス)

前ページ、前期日程(1)桐生試験場を参照してください。

5. 受験心得

- 1 「群馬大学受験票」及び「大学入学共通テスト受験票」を必ず持参し、試験場に入構の際、提示してください。なお、合格後入学手続の際にも必要となりますので大切に保管してください。
- 2 課せられた試験等は、全て受験しなければ失格となります。
- 3 試験室では「群馬大学受験票」記載の受験番号と同じ番号の席に着き、本学受験票及び大学入学共通テスト受験票を机上の右上隅においてください。
- 4 遅刻した場合は、入構確認を行っている職員に申し出てください。
なお、試験開始後30分までの遅刻者は、受験を認めます。ただし、試験時間は延長しません。
- 5 試験時間中は、監督者の指示に従ってください。
- 6 以下のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、受験資格を失うことになります。
また、悪質と判断された場合は、警察に被害届を提出する場合があります。
 - (1) 写真票に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入した場合
 - (2) カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを見たりすること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
 - (3) 他の受験者に答えを教えたり、カンニングの手助けをすること。
 - (4) 配付された問題冊子や解答用紙を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
 - (5) 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり、解答を始めること。
 - (6) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類をかばん等にしまわず、身に付けていたり、使用すること。
 - (7) 「解答やめ。」の指示に従わず、解答を続けること。
 - (8) 試験場において他の受験者の迷惑となる行為や監督者等の指示に従わないこと。
 - (9) その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。
- 7 試験時間中に日常生活騒音等（監督者の巡回による足音・監督業務上必要な打ち合わせなど、航空機・自動車・風雨・空調の音など、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音など、携帯電話や時計等の短時間の鳴動、周囲の建物のチャイム音など）が発生した場合でも救済措置は行いません。
- 8 試験開始時には必ず解答用紙（下書用紙とも）に本学受験番号及び氏名を記入（英語のマークシートについては、受験番号のマークも）してください。
- 9 途中退場は認めません。
- 10 試験終了時には、直ちに答案から手を離し、監督者の指示を待ってください。
- 11 本学受験票及び大学入学共通テスト受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、次のとおりです。これ以外の所持品を使用又は置いている場合には、解答を一時中断させて、試験終了まで預かることがあります。
 - ・黒鉛筆（HBに限る。）（美術専攻の実技試験を除く）、鉛筆キャップ、シャープペンシル
 - ・プラスチック製の消しゴム
 - ・鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可。）
 - ・時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可。）
 - ・眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの。）
 - ・数学受験の際は定規（直線又は三角）、コンパス。
- 12 解答はHBの鉛筆（シャープペンシル可）を使用してください。ただし、英語のマークシートについては、HBの鉛筆を使用してください（シャープペンシル不可）。
- 13 昼食は必ず持参してください。
- 14 理工学部東京試験場に対し、本学の試験に関する問合せ等をしないでください。
- 15 マスクを必ず持参し、着用してください。
- 16 このほか受験上の注意事項を各試験場に掲示しますから、よく見てください。
- 17 受験者の入構開始時刻は8時です。諸注意があるので定められた時刻までに試験室に入室してください。

6. 類及び進級について

理工学部は、「類」による選抜を実施しております。

「類」とは幅広く理工学を学ぶためのものです。分野横断的な教育を強化し、IoT（Internet of Things:モノのインターネット）や持続可能な社会に向けた課題解決ができる人材を育成します。

入学後はまず「類」に所属し、教養教育や理工学基礎科目、類共通科目などを通して幅広い知識を身に着けます。その後、自分の適性を考えながら「プログラム」を選択します。従来の伝統的な学術分野を背景とするプログラムに加えて、理工学の知識を基にした食品工学、化学と物理の融合した材料科学、電気と機械の融合した知能制御などユニークなプログラムによって、みなさんの専門性を育てていきます。

進級する教育プログラムについては、学生の希望や成績等をもとに決定されます。

(1) 物質・環境類

2年次後期から、応用化学プログラム、食品工学プログラム、材料科学プログラム・化学システム工学プログラム、土木環境プログラムに分かれます。材料科学プログラム・化学システム工学プログラムについては、3年次後期に「材料科学プログラム」と「化学システム工学プログラム」に分かれます。

①応用化学プログラム

物質の性質・構造に関する分野や遺伝子、生命科学分野について学びます。

②食品工学プログラム

食品工学の基礎や食品の製造に関わる食品生産科学について学びます。

③材料科学プログラム

物質科学と金属工学を基軸として、材料開発に関する基礎から最先端の知識と技術を幅広く学びます。

④化学システム工学プログラム

物質・エネルギーを無駄なく、クリーンに利用・生産するための知識と技術を学びます。

⑤土木環境プログラム

自然災害からの防御や社会的・経済的基盤の計画・整備・維持管理のための技術を学びます。

(2) 電子・機械類 3年次前期から、三つの教育プログラムに分かれます。

①機械プログラム

エネルギー変換技術や材料加工技術、機械力学技術について学びます。

②知能制御プログラム

超スマート社会を創造する知能化メカトロ制御技術、IoTによるエネルギー制御技術について学びます。

③電子情報通信プログラム

最先端のデバイス、通信技術、IoTシステムなどの情報技術について学びます。

◎ ノート型パソコンの準備のお願いについて

本学では、2021年度から、ICTを活用し、授業、eラーニング、自宅学修、教員との意見交換のため、新入生全員にノート型パソコンの準備をお願いしています。

ノート型パソコンは、授業において使用するほか、講義レポートの作成・提出、本学の教務システムによる修学上必要となる授業の履修登録や自己の学修の振り返りなど、在学中の様々な用途で幅広く活用することとなります。

また、現代社会を生きるために必要とされる一般的かつ基礎的な情報リテラシーを身につけるための「データ・サイエンス」(学部1年生全員が必修の教養教育科目)の授業受講においても、ノート型パソコンを使用することになります。

なお、本学では、2022年度現在、新型コロナウイルス感染症の対応のため、対面授業とパソコン等を使用したオンライン授業を併用して実施しています。

つきましては、ご入学に際して保護者等の方々の経済的な負担は相当なものと思いますが、趣旨をご理解いただき、ノート型パソコンをご準備いただきますようお願いいたします。

なお、ご準備いただくパソコンの性能等の情報は、合格通知又は入学手続きの際に、改めて、お知らせいたします。